

ワインと巡るアートの旅

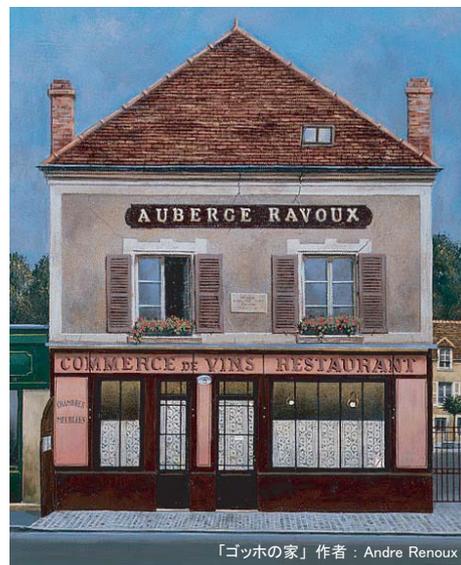
ゴッホに乾杯!

～パリ、ゴッホの部屋の窓辺から～

2011年3月24日(木)

[受付] 18:40 [セミナー] 19:00～21:30

[会場] 霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部



「ゴッホの家」作者：Andre Renoux

洋画家・中西繁さんをお講師にお迎えして、フランス・パリのゴッホが暮らしたアパルトマンで2年間の制作活動を通じて見えた、画家ゴッホの姿をお話しいたします。ゴッホとゆかりの深い、プロヴァンス地方の「太陽の味」がするワインを楽しみながら、ゴッホの新しい一面をみつけてください。

ゴッホゆかりの地のワインを5種類ご試飲戴けますので、お楽しみに!

- ・プロヴァンス地方の優良ワイン(赤・白・ロゼ)
- ・ゴッホ終焉の地、オーヴェール村のラヴェール亭ハウスワイン赤(ボルドー産、ブルゴーニュ産)

[講師] 中西 繁(洋画家)



1946年生まれ、東京都出身。東京理科大学工学部建築学科卒。1990年現代洋画精鋭選抜展で金賞受賞。その後「哀愁のパリ」、「古都の旅」「ニューヨーク・ニューヨーク」「北欧・冬の旅」「地中海の旅」など、ヨーロッパを旅しながら個展で発表。1995年の阪神大震災をきっかけに「廃墟」シリーズを発表。長崎の軍艦島を描いた「棄てられた島 2001」で第33回日展「特選」受賞。2004年9月から2年間パリ留学。2006年9月帰国、全国12都市で帰国記念展覧会「哀愁の巴里Ⅱ」を開催。講談社から著書「油彩画プロの裏ワザ」「油彩画超入門」出版。2009年2月東京銀座文芸春秋画廊にて「哀愁の巴里Ⅲ」。2010年4月浦添市美術館にて「棄てられた街」in 沖縄。9月奈良県文化会館にて平城遷都1300年祭「廃墟と再生/時空を超えて」開催。日展委嘱 / 東光会理事・常任審査員

[主催団体] Maison de Van Gogh 日本事務局



オーヴェール村のMaison de Van Gogh(ゴッホの家)は、パリ北西30Kmに位置し、画家ゴッホが最晩年の2ヶ月を過ごした場所で、現在も19世紀当時と変わらない姿を留めている。年間5万人の観光客を迎え入れるゴッホの家では、ゴッホの生活空間を維持・保存し、孤高で悲劇的というイメージに埋もれてしまっている、ゴッホの人間的側面の理解促進を図る。

■会費(ワイン・軽食付き)

メンバー ¥3,500 一般・Web会員 ¥4,000 *最少催行人数は30名(満たない場合は中止します)

■お申込み方法

霞が関ナレッジスクエア Web サイト(<http://www.kk2.ne.jp>)からお申し込みください。
*お申し込みには無料のWeb会員登録が必要です。

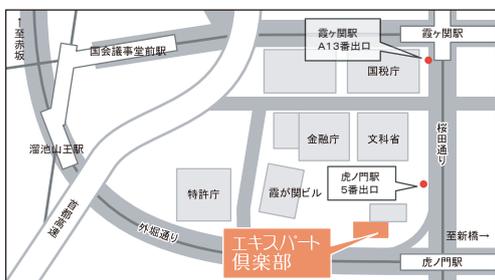
■問い合わせ先

財団法人高度映像情報センター(AVCC) 03-3239-1121
Maison de Van Gogh 日本事務局 infojapan@maisondevangogh.fr

■主催

財団法人高度映像情報センター(AVCC) / Maison de Van Gogh 日本事務局

■開催場所



霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部

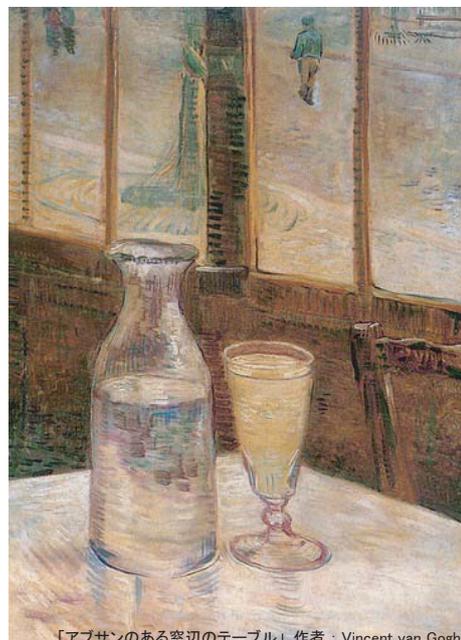
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-3
霞が関コモンゲート ショップ&レストラン
アネックス1階

■銀座線

「虎ノ門駅」5番、11番出口より徒歩1分

■丸ノ内線 / 千代田線 / 日比谷線

「霞が関駅」A13番出口より徒歩6分



「アブサンのある窓辺のテーブル」作者：Vincent van Gogh